

# 「ひまわり」会食会に参加しませんか!



された献立でした。女性が大好きな甘いおしるこもありました。参加された皆さんの「美味しか〜」、「ほんに楽しか〜」の会話に、食事を準備した民生委員、女性の会、食生活改善委員、ハナミズキ会のメンバーも、自治会長、公民館職員の疲れも吹っ飛び、会場に笑顔が溢れます。

懐かしい唱歌「春の小川」、「四季の歌」、「故郷」の3曲をそれぞれの思い出に耽りながら合唱したあと、女性の会健康部会の皆さんの踊り「葉

隠音頭」が始まると会場からは手拍子も起こり、会場は一層盛り上がり、会食会は終わりました。

なお、より多くの高齢者の方に参加していただくために、「ひまわり」の参加者を募集しています。参加資格は「73歳以上の一人暮らしの方」、「73歳以上の夫婦二人暮らしの方」、「昼間一人で在宅される73歳以上の方」です。

自治会長、又は日新公民館までお申し込み下さい。

28年度最後となる3月21日(火)に、「ひまわり」会食会が開催されました。当日は、雲間から日差しが覗く肌寒い日でしたが、この日を楽しみにしていただいた67名の皆さんに参加いただきました。

この会食会は、約30年の間、高齢者の方々の食事を催されてきた「ボランティアにちりん」が平成27年3月に解散となり、このままでは高齢者の方々の交流を深める場所がなくなるとして、そのあとを校区社会福祉協議会が「ひまわり」と名称を変え、会食会を引き継いだものです。



会食会は、校区社協の馬場桂子副会長の挨拶で始まり、1月から3月に誕生日を迎えられた参加者の23名お一人、お一人に「お誕生日、おめでとう」のお祝いの言葉とともに美しい花束が贈られました。待ちに待った会食は、いかにも春らしく彩られたちらしずし、とり肉の照り焼き、ひじきのサラダ、お吸い物で、健康にも配慮

※皆さんの社協だより、ひまわり会食会等は赤い羽根募金の配分助成金が使われています。

# 日新福祉だより

日新校区社会福祉協議会  
会長 江口 康 昭  
所在地 佐賀市長瀬町1-20  
TEL (0952)26-9216

## 第12回佐賀市社会福祉大会 開催される



講演会では、サイエンスインストラクターでありアナウンサー、防災士でもある阿部清人氏(宮城県石巻市出身)による講演・防災エンスショー「東日本大震災を乗り越えて〜いのちを繋ぐ言葉〜」があり、平成23年3月11日の東日本大震災当日は、夕方から深夜1時までNHKラジオ第一に出演して防災上として被災者へ共助の呼びかけを行うなど、アナウンサーとして防災上として被災地と被害者の災害情報を発信。現在も災害予防に精力を注がれているそうです。

佐賀市社会福祉協議会主催第12回佐賀市社会福祉大会が2月17日(金)午後1時30分から佐賀市文化会館中ホールで開催され、佐賀市内の社会福祉関係者総勢720名が参加、日新校区からも自治会長、民生委員、社協役員が30名が参加しました。

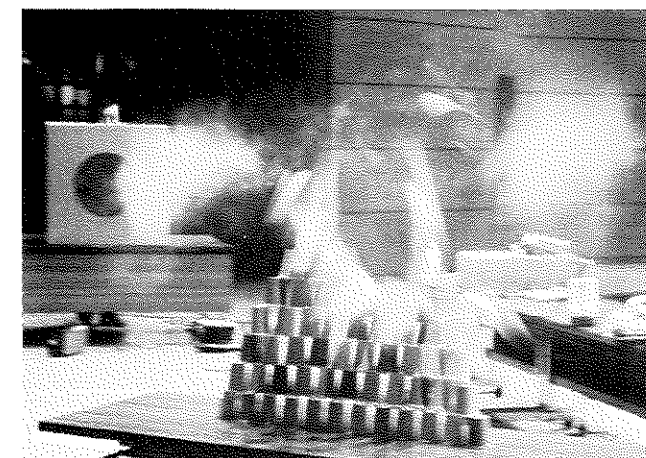
佐賀市社会福祉協議会主催第12回佐賀市社会福祉大会が2月17日(金)午後1時30分から佐賀市文化会館中ホールで開催され、佐賀市内の社会福祉関係者総勢720名が参加、日新校区からも自治会長、民生委員、社協役員が30名が参加しました。

佐賀市社協石丸義弘会長挨拶のあと、表彰・感謝状贈呈があり、社会福祉団体役員2名、民生委員児童委員68名、ボランティア団体、福祉協力員2名の方々が多年にわたる社会福祉向上に寄与された功績により表彰されました。日新校区からは民生委

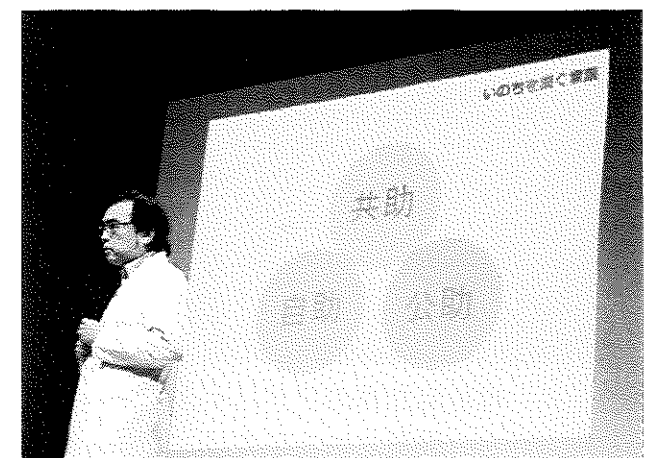
員角田成子様(川原小路)、宇野末子様(精町)と主任児童委員小島京子様(3名)が民生委員児童委員表彰を受けられました。また、福祉事業資金等寄付者6団体・10名には感謝状が贈られました。

来賓祝辞として秀島敏行佐賀市長、福井章司佐賀市議会議長、伊藤正佐賀市社会福祉協議会副会長から社会福祉事業に関わる人々への感謝と、ますます進展する高齢化社会に対応する行政及び地域の緊密な関係、隣人同士の相互扶助・協力体制の重要性について語られました。

(西岡久邦)



サイエンスショーの空気砲にビックリ!



阿部清人氏の講演

# 高齢者の安全安心な暮らしを支える「福祉協力員」

## ——六座町の福祉協力員活動——

「公民館の玄関の階段、上がりにくそうね。」  
「でも、たった一段よ。」  
「今、六座町公民館を一番活用しているのは高齢者よ。使い易いようにした方がいいよ。」

こんなお世話係の声を聞いた自治会長や自治会が、手すりを設置してくれました。

お世話係とは、「六座町ふれあい」の開催内容の企画委員であり、「ふれあい」開催時に会員への出欠確認や会食会の食事づくり等を主に手伝ってくれる人達です。

年間15回程の「ふれあい」の開催、毎週開く「元気アップサロン」や、「音楽サロン」の活動支援など、高齢者と触れ合う機会が多くあります。また、「ふれあい」終了後は、見守り状況の交換や民生委員などから新たな知識を得たりして、地域福祉情報を共有するような活動も取り組むようになりま

した。

「そのような活動は、まさに、福祉協力員の目指す姿そのものですよ。」と、社会福祉協議会からアドバイスを受け、平成28年10月に7人の六座町福祉協力員（ふれあいお世話係）が誕生しました。

設置方法は、福祉協力員1人当たり1～2班(対象人数は15～20人程度)を担当しています。向こう三軒両隣りの高齢者への声かけや見守りをしながら、民生委員や自治会と連携をとりあい、高齢者が安心してこの地に暮らし続けることが出来るようにと願いながら活動しています。



←福祉協力員連絡会議



協力員の年代は、60～80歳で、皆心身とも健康な方々です。

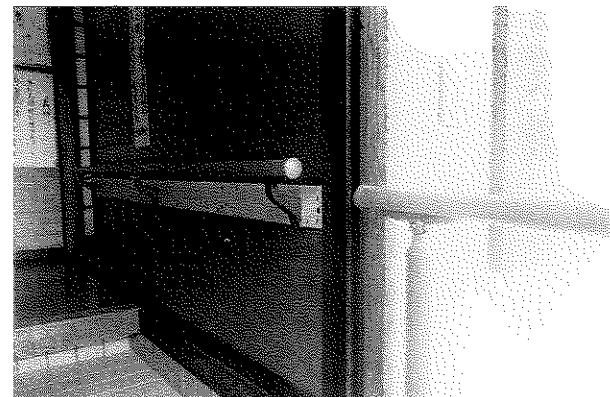
地域住民へは、自治会長

が7人の福祉協力員を設置したことを回覧板でお知らせしました。日常生活の中で、それぞれの地域にあったやり方で、協力体制ができれば、高齢者は大変心強いことと思います。

(文責 牟田口朝子)



「ふれあい」の会食会は、和気あいあい。



福祉協力員のアドバイスで設置された手すり

# 平成29年度3月18日(土)社会福祉法人旭福祉会 日新保育園の第38回卒園式に出席して

この日は晴天に恵まれましたが、まだ肌寒い早春の候、保育園があることは知りつつも……今回 ご縁あって卒園式にお招きにいただきました園長先生はじめ諸先生方、ありがとうございました。開式と同時に 大きくなったらどんな人になりたいかという質問から始まりました。



「みなさん、卒園おめでとうございます。」

あどけない園児達が各自演台にたち、大きな声で述べている姿にとっても感動しました。保育園の教育の中でいろいろと経験することにより、はっきりと自分の言葉で述べている姿はとても素晴らしく立派でした。保護者の方もお子様の将来を期待されると思います。(職種は1

位:サッカー選手10名2位:ケーキ屋さん6名 3位:警察官4名 4位:保育園先生3名 5位医師2名 他6名は消防士1名他)

私から言えばこれから長いようで短い人生を進みます。いろんなことがあるでしょう、保護者の方、先生、お友達に相談しながら最後まであきらめない気持ちで目標達成に努力してください。国歌斉唱・園の歌 斉唱・保育証書及び記念品授与の時、園長先生が子ども達に一人一人の良いところをほめ、授与される姿を見て、子どもたち31名は心に残ったことでしょう。

ところで日新校区社会福祉協議会としては園児たちとお年寄りとの交流を通じて安心安全で住みやすい環境づくりをつくる事がとても大切だと考えます。年に1～2回程度は日新保育園でお年



「おかあさん、ありがとう」



「未来に向かってはばたけ、子どもたち」

寄りと園児たちとの交流を図り心の癒しの場にしたい思いです。お年寄りは1日でも住み慣れた場所で過ごされる事を願い地域の発展に寄与したい考えです。

日新校区  
社会福祉協議会  
江口康昭